

## Entertainment 魅力的で楽しい駅

### ● お客さまにやさしい駅プロジェクト

お客さまに駅をもっと身近に感じていただくため「お客さまにやさしい駅プロジェクト」を設置しています。各駅にメッセージボードを掲出したり、クリスマスや七夕の季節感の演出など、駅現場からのアイデアを実現させてきました。



◀メッセージボード



七夕装飾 ▶

## Market マーケットとしての駅

お客さまの利便のため「駅ナカ」店舗の拡充に努めています。



京橋駅構内 ▶

## Community 公共性の高い駅

駅をコミュニティの場と捉え、公共サービスの拡充に努めています。



枚方市駅構内 ▶  
「市民ふれあいセンター」

## クオリティ・アップ宣言

乗務員が個人別に行動規範を策定し、運転技術やサービスのレベルアップを図っています。

### ● 救急救命講習の実施

乗務員が主体となり、講師を乗務員の中から選任して、3年ごとに行っています。この講習を受けたことが実際の救急救命につながり、寝屋川消防署より3名が表彰されました。



▲ 寝屋川消防署より表彰

### ● アナウンス研修

車内アナウンススキルアップ研修をプロの講師を招いて実施しました。クオリティ・アップ宣言を具現化するため、乗務員の自主的な希望で行われたものです。



▲ アナウンス研修

## 駅のバリアフリー

国および地方自治体などと協力し「交通バリアフリー新法」の対象となる5,000人以上のお客さまが乗り降りされる駅にエレベーターやスロープなどを順次設置しています。平成19年度はエレベーターを古川橋、伏見桃山および七条の各駅に新設し、天満橋駅では1番ホームに増設しました。また、古川橋駅と伏見桃山駅には多目的トイレも新設しました。平成20年3月末現在、対象駅57駅のうち36駅のバリアフリー化が完了しています。



伏見桃山駅エレベーター ▶

## 車両のバリアフリー

平成4年より車いすスペースを順次設置しており、平成20年3月31日現在220両となっています。また、出入口上部に車内案内表示器を設置し、列車種別、行先、停車駅、次駅で開くドアの案内などをLEDなどで表示するとともに、非常時に乗務員と直接通話ができる非常通報器を800、5000、7000、7200、9000、10000系各車両に搭載しています。



◀車いすスペース

▼ 車内案内表示器



## 優先座席

お年寄りや体の不自由な方、妊娠されている方などのための優先座席ゾーンの明確化を図っています。従来から窓ガラスに貼り付けていたステッカーに加え、座席の背もたれはオレンジをベースにピクトグラムを印刷したものとし、カーテンは「優先座席」マークとピクトグラムを印刷したものに、また特急車両では座席の枕カバーはオレンジ色をベースにピクトグラムを配したものにしています。

なお優先座席ゾーンでは、携帯電話の使用禁止について全てのつり革に「電源OFF」シールを貼り付け、注意喚起をしています。



▲ 優先座席 (左右とも)